

平成 26 年度ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2014年4月～2015年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が2年連続して未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧
告させていただくことがありますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 千葉黎明高等学校

種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中高一貫教育
 教員養成 技術/職業教育
 特別支援学校 その他 ()

住所 〒289-1115
千葉県八街市八街 625

E-mail : _____

Website : Http://reimei.ac.jp/

児童生徒数：男子 520 名 女子 311 名 合計 831 名
 児童・生徒の年齢 16 歳～ 18 歳

2. 担当者 ※公表しません

3. 実施活動（複数選択可）

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動内容

(1) 1年間の主な活動内容について記載願います。

1. 国際交流活動

①国際理解教室Ⅰ マザーテレサ修道会のシスターが来校(10月15日)

マザーテレサのメッセージを伝えに5名のシスター(インド・スリランカ・パプアニューギニア出身)が来校。世界の貧困と日本の貧困の違いなど、考えさせられる内容だった。日本においては「心の貧困」に注目しなければならないという話が印象的。文化や宗教という環境について考える授業となった。



②国際理解教室Ⅱ アイルランドの高校生と Skype を利用した交流(通年)

事前に自己紹介カード(英文)の作成やクラス紹介の映像を作成。アイルランドからも彼らの住むダブリン市内や学校の紹介映像を含むビデオレターが届いた。Skype を利用してリアルタイムでつながる世界を体感。国際理解と同年代交流を楽しんだ。



①幼稚園・保育園児向けの活動と連携

期 日	行 事 名	活 動 内 容	参加人数
10/3(金)	仲よし親子 2歳児教室	八街市中央公民館主催 「落花生・いも掘り」 本校農場にて	親子 60名
10/10(金)	仲よし親子 3歳児教室	八街市中央公民館主催 「落花生・いも掘り」 本校農場にて	親子 60名
10/18(土)	おいも掘り	八街保育園主催 「いも掘り会」 本校農場にて	約 200名
10/22(水)	おいも掘り	八街幼稚園主催 「いも掘り会」 本校農場にて	園児 204名

②小学校向けの活動と連携

期 日	行 事 名	活 動 内 容	参加人数
6/1(日)～ 6/4(水)	通学合宿(前期)	2004年度より実施の八街市教育委員会主催行事である『通学合宿』の宿泊施設(合宿所)を提供。そして部活動体験や施設見学・授業見学などの体験学習を実施した。 各小学校から10名の参加。 千葉敬愛短期大学初等教育科から各期7名が参加。	実住小 交進小
10/5(日) ～ 10/8(水)	通学合宿(後期) ※台風接近の為中止		八街東小 笹引小
10/16(木) 10/23(木)	街探検	実住小学校2年生約20名が来校。学校施設を見学した。 翌週には質疑応答を実施した。	約 20名
2/18(水) 2/20(金)	小学校との連携事業	八街北小学校の各クラス(18日は低学年、20日は高学年)に生徒が入り「読み聞かせ」や授業補助等に従事。また、体育の授業等に陸上競技部生徒が参加して競技指導を実施。	3年生生徒 約 10名 派遣
2/20(金)	職業体験学習	実住小学校6年生の総合学習を受け入れ。生産ビジネス科の先生や生徒と共に園芸関係の作業を行った。	児童 10名

③中学校との連携

期 日	行 事 名	活 動 内 容	参加人数
6/14(土) 6/15(日)	第 19 回八街市近隣中学校交流野球大会	八街市主催の野球大会で、八街近隣地区の予選を勝ち抜いた16チームが大会期間中熱戦を繰り広げている。本校は会場提供校として協力している。	本校会場 約 240名
6/22(日) 6/28(土) 6/29(日)	第 22 回 U-15 REIMEI CUP サッカー大会	近隣中学校とクラブチームの32チームが参加。八街地区の競技力向上と交流を目指したもの。八街中央中・八街南中・山武南中には会場校としてご協力いただいた。	約 680名
6/22(土) 6/23(日)	第 21 回八街近隣中高交流ソフトテニス大会	八街近隣地区の中学生・高校生の交流の場をつくることと同時に競技力の向上を目指して開催。	約 200名
7/31(木)	教員・生徒派遣	八街南中学校での「夢・理科クラブ」に講師と補助生徒を派遣。 「芝人形作り」「ポップコーンを作って食べよう！」	約 25名
8/10(土)	第 8 回八街近隣小中交流ソフトテニス大会	男子15団体60チーム、女子21団体80チームが参加。八街地区の選手育成のために開催。	約 180名
11/24(日) 12/1(日)	第 11 回千葉黎明杯ソフトテニス大会	八街4中学校を中心に男子80組、女子107組が参加。八街地区のソフトテニス選手育成のために開催。	約 380名

11/27(木)	八街中学校面接指導 教員派遣	3年生を対象に高校受験に備える面接指導を実施した。本校から各日6名の教員を派遣し、模擬面接などを実施。	約240名
12/13(日)	第37回八街市少年野球教室	八街市主催の小中学生対象の野球教室。慶応義塾大学体育会野球部の監督・選手を講師に迎えて交流と技術向上を図る。本校は会場提供校として運営に協力した。	約200名
2/22(土) 2/23(日)	第21回八街近隣中高交流ソフトテニス大会	八街近隣地区の中学生・高校生の交流の場をつくることと同時に競技力の向上を目指して開催。	約200名
3/17(火)	進路総合ガイダンス	八街市内4中学校の2年生全員が参加。大学・専門学校・就職など約85の講座に参加することで高校進学先の先にある進路について学習した。	約860名

④地域社会との連携

期 日	行 事 名	活 動 内 容	参加人数
6/29(日)	子育て支援フォーラム	八街東小学校で開催されたフォーラムにボランティア参加	生徒39名
9/19(金)	ゆうあいびっくソフトボール大会(成田市)	「ゆうあいびっく」という愛称で呼ばれる知的障害者スポーツ大会の運営にボランティア参加	生徒23名
11/30(日)	知的障害者競技支援活動ボランティア	知的障害を持つ子どもたちとのサッカー教室 スペシャルオリックスボランティア 印西市平賀小学校にて	生徒8名
11/8(土)	八街市三区合同防災訓練	八街北小学校で実施された防災訓練にボランティア参加	生徒7名
12月中旬 ～ 12/14(日)	衆議院議員選挙ボランティア	社会参加ボランティア 参議院選挙事前投票と選挙当日の投票業務の補助(八街市内3投票所にて)を行った。	生徒18名
通年	産学連携事業	市内の企業とともに八街市の名物づくり(創作餃子、房総地鶏飼育実験等)に取り組んだ。	生徒18名

④震災学習としての修学旅行

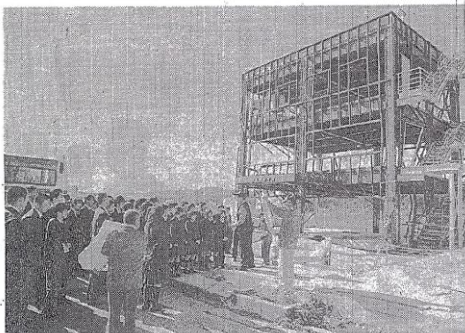
期 日	行 事 名	活 動 内 容	参加人数
10/15(水) ～ 10/18(土)	修学旅行(2年生)	被災地を含む東北地方への修学旅行。気仙沼・石巻・南三陸町などを訪ね、仮設住宅での傾聴ボランティアを実施。	生徒290名

3、成果と課題

①本校は2014千葉教育大賞（千葉日报社）において「絆から結びへ」～地域密着型私立高等学校の挑戦～と題した発表が特別賞を受賞。私立学校の教育活動における地域との関わりと防災教育への取り組み等が評価された。特に地域でのボランティア活動や高校と幼少中学校との連携教育活動はESDの重要な部分として再確認した。地域との連携についても今後の活動にも大きな希望が持てる。

2014 千葉教育大賞 特別賞受賞

(2015. 1.28 千葉日報掲載)



修学旅行で訪れた宮城
県南三陸町の防災庁舎

千葉教育大賞 「学校と地域で育む」を副題に、千葉の将来を担う子どもたちの「自立する力」をほぐぐむ優れた教育活動を顕彰する。千葉日報創刊50周年を記念して2008（平成20）年に創設された。

主催・千葉日报社。後援・県、県教育委員会、千葉市、千葉市教育委員会、県私学教育振興財団、県経営者協会、県青少年協会。

特別賞

千葉黎明高等学校（八街市）

「絆から結びへ～創立92年
地域密着型私立高等学校の挑戦」

1923年、開拓の町に「八街農林学園」として創立以来、千葉黎明高校（95年に校名変更）は、地域を支えられ、多くの連携事業を展開している。その「絆」を「結び」数々の体験が、生徒の未来を切り開く力になると考えている。

連携は多岐にわたる。子育てフォーラムや選挙啓発活動などへのボランティア参加。生徒が実習で育てた花を活用した各種施設との交流、駅頭、公園の美化活動。多彩な公開講座を開き、観覧会ではキャンパスを開放している。小学生の通学合宿や、生活科授業の「街探検」の受け入れなど、八街市が推進する幼小中高連携教育にも積極的に関わっている。

防災教育では「自助」の能力を高め、「共助」の精神を培う目的で、学校が避難所となった場合を想定した学校での宿泊訓練を実施。2012年度からは、修学旅行で東日本大震災の

多岐にわたる地域連携 体験が生徒の未来を開く

被災地を訪問し、現状を肌で感じるとともに、仮設住宅での「傾聴ボランティア」にも取り組んでいる。

13年4月には、持続発展教育（ESD）実践校として、ユネスコスクール加盟が認められた。

.....

学びを活かす力育成

西村清理事長・校長 地域と連携した数々の体験学習、修学旅行での「傾聴ボランティア」などを通して、学びを活かすことのできる生徒として成長することを目指して取り組んでいます。評価に感謝したい。

個性的活動 大きな感動



特別賞の団体のうち、千葉黎明高校は、私高校が地域に広がるのは嬉しい中で、学校が徹して地道にやるべき教育を展開しています。そのご自身が決して容易に諦めず、とてはな、長い歴史をもつていえる点が評価されました。

選考委員長
放送大学副学長
宮本みち子氏

受賞活動と団体

- 八街 県立特別支援学校流山高等学校
「高校生による焼きだてしのある喫茶店～連携可能な地域教育力の活用を目指して」
- 幸六 町 NPO法人いちかわ市民文化ネットワーク
「チャレンジド・ミュージカル公演」
- 特別賞 千葉黎明高等学校（八街市）
「絆から結びへ～創立92年 地域密着型私立高等学校の挑戦」
- 柏市立逆井中学校
「柏市立逆井中学校 逆井親子（はやし）保存の会」

選考委員長	宮本みち子氏	放送大学副学長
選考委員	宇野 京子氏	NPO法人子ども劇場千葉県センター理事
	田村 光子氏	稲草学園短期大学福祉学科准教授
	森田 雄司氏	児童養護施設子山ホーム副長
	市川由貴子氏	千葉県経営者協会人づくり委員会委員長
	大久保利宏氏	千葉県立幕張総合高等学校校長
	館野 正春氏	千葉市立加曽利中学校校長
	竹政 幸雄氏	臨海中学・高等学校校長
	中元 広之	千葉日報社編集局長

②ユネスコスクール 2 年目の年となった。11 月の世界大会にあたり県内ユネスコスクール加盟校との運営や交流が大きな意味を持つ 1 年だった。文科省からユネスコスクール ESD 優良実践校としての認定を受けてユネスコスクール世界大会のために編纂された「ユネスコスクール ESD 優良実践事例集」に本校の活動が掲載された。世界大会への参加が大きな目標となった今年度だったが、以降の活動について生徒の中から意欲が湧きあがっているのを実感。次年度の活動に期待。

(2) 活動時間について (下記から選択して下さい。)

- 通常の授業時間を使用 (総合的な学習の時間を含む)
- 時間外活動の時間を使用
- ユネスコクラブの活動として実施
- その他 ()